

2023年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 · 教育科学 コース

(一般入試・外国人留学生入試)

(専門試験)

試験日： 2023年2月2日(木)

試験時間： 9時30分～12時00分

【注意事項】

- 監督者の「はじめ」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
- 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
- 各設問に対応する答案用紙に回答すること。

I. 次の英文の全文を日本語に翻訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

(出典) International Commission on the Futures of Education, 2021, *Reimagining our futures together: A new social contract for education*, UNESCO, pp.42-43 (一部改変)

(注) TVET：職業技術教育・訓練

II. 以下の設問について、それぞれ 400 字以内で解答しなさい。なお、必ず 3 題すべてに解答すること。（解答は、II-1、II-2、II-3 と記載されている答案用紙に、対応する設問の解答をそれぞれ記載すること）。

II-1. 学校教育における「隠れたカリキュラム」とその影響について例をあげて論じなさい。

II-2. 「人間は教育されなければならない動物である」（M.ランゲフェルト）という定義の意味を説明しなさい。

II-3. 1947 年の教育基本法と 2006 年の教育基本法の違いを説明しなさい。

2023年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻 心理学 コース

一般入試・外国人留学生入試
専門試験（外国語を含む）

試験日：2023年2月2日(木)

試験時間：9時30分～11時30分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 共通問題である問題1と問題2のいずれにも解答すること。問題3Aから問題3Eは選択問題であり、志望指導教員の専門分野に合致する1つを選んで解答すること。
3. 問題ごとに答案用紙を1枚ずつ用いること。答案用紙3枚が配布される。
4. 答案用紙の左上の問題番号欄に問題番号を明記すること。
5. 問題3に関しては、解答する順序は自由だが、問の番号を答案用紙に明記すること。 例：問1(2)

問題1【共通問題】

以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。右肩に数字を付した語句について、本文の後に注があります。(50点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

注¹ deferential : 礼儀正しい

注² blatant : あからさまな

注³ humanoid robots : ヒューマノイドロボット、人型ロボット

(出典 : Martin, A. E. et al. (2023). Hey Siri, I love you: People feel more attached to gendered technology. *Journal of Experimental Social Psychology*, 104, 104402. より一部改変)

問題2 【共通問題】

以下の英文の全文を日本語に訳しなさい。右肩に数字を付した語句について、本文の後に注があります。(50点)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

注¹ scowl : しかめっ面をする

(出典 : Cook, R. et al. (2022). The cultural learning account of first impressions. *Trends in Cognitive Sciences*, 26(8), 656–668. より一部改変)

問題3A【選択問題：発達心理学】

問1

以下の（1）から（3）のうち2つを選び、それについて、複数の研究知見に言及しながら、説明しなさい。（25点×2）

- (1) ナラティブ（語り）の発達
- (2) 実行機能の発達
- (3) 遊びの発達

問2

あなたが考える、児童の学習に影響を及ぼしうる要因について述べなさい。さらに、それを検討するための研究案を述べなさい。検討する内容、仮説、方法、分析法を含め、具体的に書きなさい。（50点）

問題3B【選択問題：認知心理学】

問1

以下の（1）から（3）のうち2つを選び、それぞれ与えられた3つの用語を用いて統合的かつ具体的な説明文を書きなさい。（20点×2）

- (1) 順応、残効、視覚
- (2) 脳波計測、機能的磁気共鳴画像 (fMRI)、空間分解能
- (3) p 値、サンプルサイズ、効果量

問2

「脅威刺激は視覚的注意を引きつけやすい」という仮説を検証するための研究を計画しなさい。実験方法、データ分析方法、予想される結果、計画した研究の限界点について、できるだけ具体的に述べなさい。図を用いてもかまいません。研究計画に複数の実験を含めてもかまいません。（60点）

問題3C【選択問題：社会心理学】

問1

社会心理学における実験と調査の役割についてそれぞれ述べよ。（40点）

問2

以下の(1)から(6)のうち3つを選び、それぞれについて具体的に説明せよ。

(20点×3)

- (1) 計画的行動理論 (theory of planned behavior)
- (2) 精緻化見込みモデル (elaboration likelihood model)
- (3) 多元的無知 (pluralistic ignorance)
- (4) 中心極限定理 (central limit theorem)
- (5) パネル調査 (panel study)
- (6) 層化多段抽出法 (stratified multistage sampling method)

問題3D【選択問題：臨床心理学】

問1

以下の（1）と（2）のそれぞれについて、3つの用語を用いた統合的な説明文を書きなさい。（20点×2）

- （1）ストレッサー、ストレス、認知的評価
- （2）行動変容、疾病予防、健康心理学

問2

感情制御の能力が心身の健康に及ぼす影響について明らかにするための研究計画を、1つ考案しなさい。問題の背景、仮説、方法、分析計画（独立変数、従属変数、解析方法など）について、できるだけ具体的に記述すること。適宜、図を使用してもかまいません。（60点）

問題3E【選択問題：教育心理学】

問1

以下の（1）から（4）のうち2つを選び、それぞれについて解説せよ。専門知識がない人にも理解できるように、具体的に、かつ、わかりやすく記述すること。
(20点×2)

- (1) 知能指数
- (2) オペラント（道具的）条件づけ
- (3) 長期記憶
- (4) リーダーシップのPM理論

問2

以下の（1）と（2）の両方に解答せよ。根拠や具体例を示しながら、論理的に論じること。(30点×2)

- (1) 心理学の研究に統計解析が必要とされるのはなぜか。
- (2) 変数間の因果関係を立証するためには、どのような要件を満たす必要があるか。また、そうした要件を満たす上で、実験研究（要因の操作をともなう研究）と相関研究（要因の操作をともなわない研究）には、どのような優劣があるか。

2023年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学専攻・発達臨床心理学コース

一般入試・外国人留学生入試
専門試験

試験日：2023年2月2日(木)

試験時間：9時30分～12時30分

【注意事項】

- すべての問題に答えること。
- 問題ごとに指定の答案用紙を使用すること。

2023 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2 月入試
【専門試験】

問題 1

子どもの心理療法について、以下の問い合わせに答えてください。

- 問 1 子どもの心理療法に関する主要な理論を 2 つ挙げ、その特徴を比較しながら説明してください。
- 問 2 子どもの心理療法において、セラピストにはどのような役割が求められますか。具体的に論じてください。

2023 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2 月入試
【専門試験】

問題 2

粗暴な非行を行った 10 代の若者に対して、地域で再非行防止のためのプログラムを実施し、その効果を定量的に検証することが求められているとします。あなたであれば、どのような研究計画を立てて効果を検証しますか。何を効果の指標とするか、どのようにデータを集め、どのように結論を導くか、プログラム以外に結果に影響を与えるであろう要因は何でそれをどのように統制するか、研究を実施する上で倫理的に考慮すべき事項は何かを含めたうえで、具体的に論じてください。

2023 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2 月入試
【専門試験】

問題 3

次の事柄を説明してください。

問 1 社会構成主義的立場に基づく心理アプローチ

問 2 タラソフ原則

問 3 エイジズム

問 4 駐化と鋭敏化

問 5 感情と情動と気分の違い

2023年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2月入試
【専門試験】

問題 4

次の英文を日本語に全訳してください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

語注

Russell Group = ラッセルグループ（イギリスの研究型国立大学 24 校による団体）
ramification = 結果

出典： Johnson, J., Madill, A., Koutsopoulou, G. Z., Brown, C., & Harris, R. (2020). *Tackling gender imbalance in psychology*. British Psychological Society. Retrieved from <https://www.bps.org.uk/psychologist/tackling-gender-imbalance-psychology> を一部改変

2023 年度大学院人間文化創成科学研究科（博士前期課程）人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 2 月入試
【専門試験】

問題 5

次の英文を読み、以下の問い合わせに答えてください。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：Ervin, J., Taouk, Y., Alfonzo, L.F., Hewitt, B., & King, T. (2022). Gender differences in the association between unpaid labour and mental health in employed adults: a systematic review. *Lancet Public Health*, 7(9), e775-e786. 一部改変

問 1 下線部 1) の理由を 100 字以内の日本語で述べてください。

問 2 下線部 2) を日本語に訳してください。

問 3 下線部 3) を日本語に訳してください。

2023年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）
人間発達科学専攻・応用社会学コース
(一般および外国人留学生入試)
専門試験（外国語を含む）

試験日：2023年2月2日(木)

試験時間： 9:30～12:00

【注意事項】

解答は、問1、問2、問3それぞれ別々の答案用紙に記入すること。

2023 年度 大学院 人間文化創成科学研究科(博士前期課程) 人間発達科学専攻
応用社会学コース 2 月入試 専門試験(外国語を含む) 一般および外国人留学生入試

問1. 次の英文を読んで、(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

- 注) status attainment: 地位達成
career paths: キャリア・パス, 経歴の道筋, 履歴の経路
occupational prestige: 職業威信
strain: 繁張, 負担, 疲労, ストレス
lockstep career progression: おきまりの経歴の継起・発展
social convoys: 社会的コンボイ([護送船団から]一団, 道連れ, 連れ合い)

(出典: Moen, Phyllis, and Elaine Hernandez, 2009, "Social Convoys: Studying Linked Lives in Time, Context, and Motion," In *The Craft of Life Course Research*, edited by G. Elder, Jr. and J. Giele, pp. 258-279, New York: Guilford Press. Pp. 259-260 より一部改変)

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 著者らは social convoys という概念をどのようなものとして用いているか。先行研究に付け加えている側面を明らかにして説明し、その付け加えた側面の具体例と考えられるものを本文中から探して説明せよ。
- (3) linked lives や social convoys の考え方を踏まえて、現代の日本にみられるライフコースについて社会学的に論じなさい。

問2. 日本の失業率が、OECD 諸国に比して低い傾向にあるのはなぜか。考えられる理由を社会学的な観点から論じなさい。

問3. 次の①～⑧の概念のうち5つを選んで、それぞれ項目の番号を明記してから3行以上で説明しなさい。

- ① 層化抽出法(stratified sampling)
- ② 生態学的誤謬(ecological fallacy)
- ③ 社会的のぞましさバイアス(social desirability bias)
- ④ 理解社会学(Verstehende Soziologie)
- ⑤ 障害の社会モデル(social model of disability)
- ⑥ 絶対的貧困(absolute poverty)
- ⑦ フォーディズム(Fordism)
- ⑧ ガラスの天井(glass-ceiling)

2023年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

人間発達科学 専攻・保育・児童学 コース

(一般・社会人特別・外国人留学生 入試)

(専門試験)

試験日：2023年2月2日(木)

試験時間：9時30分～12時00分

【注意事項】

1. 監督者の「始め」の合図があるまで問題冊子を開けないこと。
2. 試験中、用のある場合は手を挙げて監督者を呼ぶこと。
3. 問題毎に答案用紙一枚を使用し、問題番号を明記すること。
ただし、問題内に別途指示がある場合は、それに従うこと。

問題1 次の英文を和訳しなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典 Clapp, E. P., Ross, J., Ryan, J. O., & Tishman, S. (2016). *Maker-centered learning: Empowering young people to shape their worlds*. San Francisco, CA: Jossey-Bass. (一部改変)

問題2 次のページ以降の資料A、資料Bを読み、問い合わせに答えなさい。

- (1) 資料Aにおいて、実践者の使うことばの特徴として筆者が指摘していることについて述べなさい。(150字程度)
- (2) 資料Bは実践者による文章である。傍線部「子どもの主体性」に筆者はどのような意味を込めていると考えられるか。資料Aの筆者の主張も踏まえて論述しなさい。(300字程度)

出典

資料A：無藤隆(2007)『現場と学問のふれあうところ』. 新曜社.

資料B：渡辺英則(2013)人とのかかわりの中で育つ「学び」とは. 佐伯伸・大豆生田啓友・渡辺英則・三谷大紀・高嶋景子・汐見稔幸(2013)『子どもを「人間として見る」ということ－子どもとともにある保育の原点－』. pp. 209-250. ミネルヴァ書房.

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

問題3 次のページ以降の資料は、2021年の1年間（1月1日～12月31日）に、国に報告された「教育・保育施設等における事故報告集計」の一部である。資料を参照し、以下の問い合わせに答えなさい。

答案用紙一枚のなかに（1）（2）（3）を分けて記載すること。

- (1) 報告の対象の一つとなっている「家庭的保育事業」とは何か、説明しなさい。（300字程度）
- (2) 次のページ以降の資料から読み取れることを3点書きなさい。
- (3) 「教育・保育施設等における事故」をなくすために、国にはどのような政策が求められるか。
(2)で解答した、資料から読み取れることをもとに、日本の制度や政策の課題を挙げ、その解決策を論じなさい。

出典

内閣府子ども・子育て本部「令和3年教育・保育施設等における事故報告集計」の公表について」2022年7月7日 (https://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/outline/pdf/r03-jiko_taisaku.pdf)

資料 (以下、各表内の数字は事故の件数である。)

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。